

Public Interest Incorporated Foundation for Shiretoko Institute of Wildlife Management

設立財団ニュースレター

Vol. 8

2016年3月31日発行

■ 特別寄稿 ～専門委員の鈴木正嗣先生より、ご寄稿いただきました～

時代に即した野生動物管理学教育を構築するために

モデル・コア・カリキュラム策定と教育体制整備の必要性

岐阜大学応用生物科学部教授 鈴木 正嗣

最近10年、野生動物関連の講座・研究室を有する大学は著しく増加したとされる(羽山 2015)。この現象には、2018年問題(注1)への対応という大学経営上の都合が見え隠れするものの、少なくとも野生動物に関わる教育機会の増加という点からは歓迎すべきことである。しかし、一部の大学を除き、配置されている教員数は極めて限られ、次に示す懸念が指摘されている。

・教育内容は、単数もしくは少数の担当教員の専門性に左右されがちであり、野生動物を取り巻く多様な課題に対応し得る人材の育成は困難である。

・野生動物管理には自然科学のみならず社会科学な観点や取り組みが必要とされる(九鬼・武山 2014)が、両分野をカバーする横断的教育カリキュラムを組み上げることは極めて難しい。

・担当教員の専門分野以外の授業内容が薄まり、断片的知識の教授や物見遊山的な見学実習に留まる可能性も高く、系統立った教育を実施しにくい。

もし、このような状況が継続・固定化するならば、出身校に依存する「人材間の能力格差」が著しく拡大することになる。これでは人材育成体制としての質保証(注2)が担保されず、野生動物管理学という教育分野全体として重大な欠陥を抱え込むことになる。また、環境省が「専門的な知識を有する職員が都道府県等の行政機関に配置される





鈴木正嗣 (すずきまさつぐ)
岐阜大学応用生物科学部教授

1987年帯広畜産大学院修士課程終了。博士(獣医学・北海道大学)。北海道大学大学院獣医学研究科助教授を経て2007年より現職。北海道在住中はエゾシカやアザラシ類を対象に繁殖や成長、感染症等に関する研究に従事してきた。岐阜大学赴任後は、ツキノワグマやニホンカモシカの研究も行っている。現在の専門は野生動物管理学で、「動物福祉に配慮した野生動物の高効率捕獲体制の検討と普及啓発」などのテーマに取り組んでいる。

ことが重要である」との認識を示す現状(詳細は<https://www.env.go.jp/press/101523.html>を参照されたい)にあっては、当の人材育成を担う教育分野としての社会的な責任も問われかねない。

では質保証のためには、どこから着手するのが近道であろうか。そのヒントは、医学や薬学、獣医学などのライセンス教育の分野で先行する取り組みの中にある。これらの教育分野では、教育内容の細分化と高度化、そして情報量の増大にともない、「実務者育成という目的のもと、少なくとも行うべき必要最小限の教育内容」の精選が進められた。それが本稿の副題に含めた「モデル・コア・カリキュラムの策定」である。参考までに、以下に「医学教育モデル・コア・カリキュラム」と「獣医学教育モデル・コア・カリキュラム」との理念の一部を抜粋しておく。いずれも実務者として最低限備えるべき能力を明確化し、「少なくともそれを身に付けさせるための教育については、全ての大学に共通して実施させる」との強い意図を読み取ることができる。

・膨大となった医学教育の内容を精選し、卒業時(一部は臨床実習開始前)までに学生が身に付けておくべき必須の実践的能力(知識・技能・態度)の到達目標を分かりやすく提示したもの(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/kooutou/033-1/toushin/1304433.htmにて参照可能)

・全大学に課される共通の到達目標というべきものであって、大まかではあります。6年間の履修年限の中で獣医学として教えるべき3分の2程度の内容を示しています(<http://plaza.umin.ac.jp/~vetedu/cur/>にて参照可能)

「モデル・コア・カリキュラムの策定」に次いで求められるのが、それを実質化させるための教育体制の整備である。「必要最小限の教育内容」とは言い、野生動物管理学教育に求められる科目は決して少なくない。前述のとおり、自然科学と社会科学とを結ぶ分野横断的な授業体系も整備する必要もある。したがって、同カリキュラムに準拠した教育を実現するには、少なくとも学部であれば学科、大学院であれば専攻に相当する規模が必要と考えられる。逆の見方をすれば、すでに野生動物関連の講座・研究室を有する大学ですら、そのほとんどが対応しきれないことになる。いま社会から希求されている「野生動物管理の専門家」を本気で育成するのであれば、策定したモデル・コア・カリキュラムをこなし得る学科もしくは専攻の設置が必須であり、単独での設置が困難であれば文部科学省の定める「大学における教育課程の共同実施制度」(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigaku/1251913.htmを参照)を検討してみる余地はある。

さて、これまで述べてきたモデル・コア・カリキュラムの策定や教育体制の整備の必要性を踏まえ、知床自然大学院大学設立構想の社会的意義を捉え直してみよう。大学もしくは大学院の設置認可申請にあたっては、教育課程や授業科目等を入念に検討しシラバス(授業計画)を作成しておかなければならない。この作業自体が、日本では前例のない「野生動物管理学教育モデル・コア・カリキュラムの策定」に相当する。施設や設備の詳細や教員組織についても練り上げる必要があり、こちら

も前述の「モデル・コア・カリキュラムを実質化させるための教育体制の検討」にほかならず、やはり国内では具体的に熟考された経緯はない。すなわち、知床自然大学院大学設立構想とは、単なる個別的教育機関創設のための取り組みの枠を超え、日本には存在したためしのない「包括的かつ体系的な野生動物管理学教育システム」を構築するという社会的な役割・責務を担うアクションそのものなのである。

知床自然大学院大学構想においては、とくに設立資金面での厳しい状況が続くと聞く。しかし、繰り返しの言及とはなるが、この構想にもとづく取り組みは日本の野生動物管理や鳥獣行政の将来を握る「要（かなめ）」と位置づけられる。今後の道のりも決して平坦とは言えないであろうが、何としてでも、そして一刻も早い本大学院大学の設立が強く望まれる。

引用文献

羽山伸一（2015）野生動物学の30年．日本野生動物医学会誌20：21-25.

九鬼康彰・武山絵美（2014）「獣害対策の設計・基本手法」．農林統計出版、p. 11、

注1：2018年以降、少子化により大学受験者人口が急激に減少する問題として、大学や受験業界の関係者の間で頻繁に議論されている。すでにネット上に幾多の解説が掲載されているため、詳細はそれらを参照していただきたい。

注2：2008年、中央教育審議会は「大学の多様化は進んだものの、学士課程を通じた最低限の共通性が重視されていない」や「個々の教員の意向が優先され、学習の系統性や順次性などが配慮されていない」などの課題を踏まえ、質保証を一つのキーワードとする「学士課程教育の構築に向けて」（答申）をまとめた。本稿で言及した「分野別コア・カリキュラムの作成」を国として支援するとの記述も認められる。この答申の概要については、文部科学省のhttp://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/siryu/attach/1247211.htmに掲載されている。

■ 理事会報告

平成27年度第4回理事会

（定款第36条に基づく「決議の省略」による）

理事会の決議があったとみなされた日

平成28年3月15日

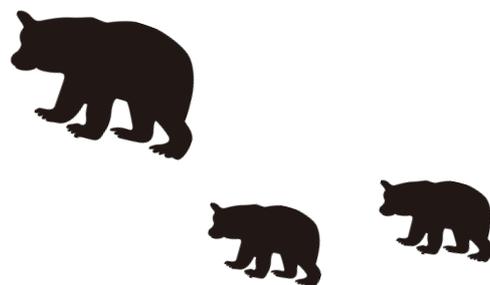
第1号議案「平成28年度（2016年度）事業計画（案）」承認の件、

第2号議案「平成28年度（2016年度）収支予算（案）」承認の件、

（資金調達及び設備投資の見込みを含む）

第3号議案「知床自然大学院大学計画策定専門委員」の選任の件について、

書面による同意の意思表示にて可決しました。



知床自然大学院大学設立財団のおすすめ本紹介

■ 今回は専門委員の吉田正人・筑波大学大学院人間総合科学研究科教授から1冊ご紹介いただきました。



『野生のうたが聞こえる（原題：Sand County Almanac）』

アルド・レオポルド 著

講談社学術文庫（1997年）1,050円

野生生物保護管理（Wildlife Management）を志す人にとって、本書は必読の書である。著者のアルド・レオポルドは、1887年に米国アイオワ州に生まれ、イェール大学で林学を学んだ。ドイツに留学し、野生生物の個体数を科学的に管理するヨーロッパの流儀を身につけて、米国森林局で野生生物保護管理に従事した。

当時の野生生物保護管理は、狩猟獣管理（Game Management）であり、シカを増やすため、オオカミなどの捕食者を根絶することが森林官の仕事であった。ところが、アリゾナ州のカイバブ高原で、捕食者の根絶によって増えすぎたシカが植生を食べ尽くし、大量に餓死するという事態を目撃した。この頃から、レオポルドは、人が野生生物の個体数を管理するという考えを改め、むしろ人間も生態系の一員であり、生態系のバランスを保つことを重視する思想を抱くようになる。

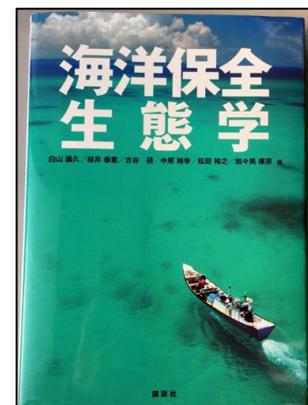
のちに筆者は、ウィスコンシン大学の教授として野生生物保護管理を教えるようになるが、晩年、同州のサンド・カウンティ（砂土地方）の農場を買い、掘立小屋をたてて自然観察を続けた。1948年、山火事を消火しようとするうちに、心臓発作を起こし亡くなった。

本書の前半はサンド・カウンティでの自然観察に基づく自然誌の記録であり、後半はレオポルドが書きためた自然保護の思想が書かれている。ここに書かれた土地倫理（Land Ethics）の思想は、現代の環境倫理の原点にもなっている。（吉田正人）

『海洋保全生態学』

桜井泰憲、松田裕之、白岩義久ほか 編

講談社（2012年）4,800円



海の生態系、漁業資源の管理、海洋保護区、国際海洋法等についての解説と実例から構成される本書は、日本で最初の「海洋保全生態学」の教科書である。第1章の冒頭には「知床世界自然遺産周辺海域の生態系保全と持続的漁業」と題して、順応的な管理と「知床方式」と呼ばれる横の連携による知床の海域管理計画が紹介されている。海洋生態系と生物多様性の保全、そして漁業管理については、自然科学からのアプローチだけでなく社会科学的視点からも論じられ、陸域の生態系管理と比較して興味深い。海は私たちに大きな恩恵を与えてくれる。資源保護と持続的利用のために取り組むべき課題について本書から知ることができる。（中川 元）

知床の地域資源 Q&A 第4回

知床自然大学院大学は、地域資源を大切にしながら持続可能な社会を実現する専門家の養成を目標としています。ここではクイズ形式で、知床の地域資源について解説します。知床についてよく知っている人も、実はよく知らないという人も、気軽にチャレンジしてみてください！第4回は流氷についてです。

Q オホーツク海の冬の風物詩・流氷。流氷によってもたらされた大量のプランクトンが、海、川、森とつながる貴重な知床の生態系を支えています。さて、網走地方気象台によると、今年の流氷接岸初日は2月22日。1959年の観測開始以来、最も遅い記録だったそうです。そこで問題！オホーツク海沿岸に流氷が接岸しなかった年は過去にあるのでしょうか？

1、流氷が接岸しなかった年は **ある**

2、流氷が接岸しなかった年は **ない**



A 1、流氷が接岸しなかった年は **ある** が正解です！

網走地方気象台によると、今から約30年前の1989年（平成元年）には流氷接岸の記録がありません。この年は2月2日に流氷初日（肉眼で流氷が初めて見えた日）を迎えていますが、とうとう接岸はしなかったようですね。

北海道が今年、知床の世界遺産10周年を契機に、知床条例を制定するとともに、1月30日を「知床の日」と制定しました。この1月30日は、知床が世界遺産に登録された2005年に、斜里町ウトロで流氷接岸初日が確認された日です。紛らわしいですが、網走地方気象台の公式記録によると、2005年の流氷接岸初日は2月7日。同じオホーツク海沿岸でも網走と知床では接岸の時期に違いがあるのです。ここ最近では風向きの影響か、気象台のある網走よりも先に知床斜里に接岸することが多いようです。

これまでにいただいたご支援について

1、賛助会員の状況

知床自然大学院大学設立財団の活動は、賛助会員をはじめとする多くの皆様の御支援に支えられております。皆様の温かいご支援に、心から厚く感謝申し上げます。財団設立後、3年間の状況について、お知らせいたします。

なお、知床自然大学院大学設立財団への会費は、所得税、住民税、及び相続税における優遇措置の対象となります。詳しくは知床自然大学院大学設立財団のホームページ、または税務署にお問い合わせください。

(1) 賛助会員数と金額

| | 内訳 | | 2015年度 | 2014年度 | 2013年度 |
|------|------|----|-----------|-----------|-----------|
| | 賛助会員 | 個人 | 件数 | 103 | 114 |
| 金額 | | | 515,000 | 570,000 | 460,000 |
| 団体 | | 件数 | 3 | 4 | 4 |
| | | 金額 | 30,000 | 40,000 | 40,000 |
| 法人 | | 件数 | 26 | 22 | 8 |
| | | 金額 | 520,000 | 440,000 | 800,000 |
| 法人特別 | | 件数 | 9 | 9 | - |
| | | 金額 | 900,000 | 900,000 | - |
| 合計 | | 件数 | 141 | 149 | 104 |
| | | 金額 | 1,965,000 | 1,950,000 | 1,300,000 |

※2013年度は法人会員（年会費10万円）のみでしたが、2014年度より法人特別会員（年会費10万円）と法人会員（年会費2万円）に制度を改定いたしました。

(2) 法人会員・団体会員一覧

法人特別会員

| 会社名(特別法人) | 住所 |
|---------------|-----|
| 土橋工業株式会社 | 北海道 |
| 株式会社知床グランドホテル | 北海道 |
| 株式会社秀岳荘 | 北海道 |
| 株式会社知床第一ホテル | 北海道 |
| 株式会社ホテル知床 | 北海道 |

| 会社名(特別法人) | 住所 |
|------------------|-----|
| 峯浜水産有限会社 | 北海道 |
| 株式会社辻中商店 | 北海道 |
| 株式会社バイタル | 東京都 |
| シチズンホールディングス株式会社 | 東京都 |
| 株式会社北日本広告社 | 北海道 |

法人会員

| 会社名(法人) | 住所 | | |
|---------------|-----|------------------|-----|
| 株式会社中田建機 | 北海道 | 釧路アポロ石油株式会社 | 北海道 |
| 山崎建設工業株式会社 | 北海道 | 株式会社ユートピア知床 | 北海道 |
| 医療法人社団 雄俊会 | 北海道 | 株式会社小林印刷 | 北海道 |
| 株式会社ハラノ | 北海道 | 株式会社高橋商事 | 北海道 |
| 有限会社斜里印刷 | 北海道 | 有限会社内山食品 | 北海道 |
| 株式会社東洋リネンサプライ | 北海道 | 株式会社鈴木工業所 | 北海道 |
| 株式会社サントップロジテム | 埼玉県 | サッポロウエシマコーヒー株式会社 | 北海道 |
| 株式会社三洋食品 | 北海道 | 泰斗設備工業株式会社 | 北海道 |
| 六花亭製菓株式会社 | 北海道 | 丸正誠伸興業株式会社 | 北海道 |
| 株式会社北見環衛 | 北海道 | 三宏電気株式会社 | 北海道 |
| 有限会社五十嵐金物店 | 北海道 | 安田商事株式会社 | 北海道 |
| 網走観光交通株式会社 | 北海道 | 齋藤健太郎法律事務所 | 北海道 |
| | | 中央防災株式会社 | 北海道 |

団体会員

| 団体名 | 住所 |
|---------------------|-----|
| 斜里町商工会 | 北海道 |
| 知床博物館協力会 | 北海道 |
| 特定非営利活動法人 知床斜里町観光協会 | 北海道 |

2、寄附金の状況

賛助会費の他にも、たくさんの一般寄附金、特定寄附金をお寄せいただきました。ご支援いただいた皆様に、心よりお礼申し上げます。寄附金についても、所得税、住民税、及び相続税における優遇措置の対象となります。詳しくは知床自然大学院大学設立財団のホームページ、または税務署にお問い合わせください。

(1) 寄附件数と金額

| 内訳 | | 2015年度 | 2014年度 | 2013年度 | |
|-------|----|--------|-----------|-----------|-----------|
| 一般寄付金 | 個人 | 件数 | 27 | 32 | 33 |
| | | 金額 | 597,915 | 1,373,470 | 459,816 |
| | 団体 | 件数 | 0 | 1 | 2 |
| | | 金額 | 0 | 36,094 | 50,000 |
| | 法人 | 件数 | 8 | 16 | 17 |
| | | 金額 | 1,370,000 | 855,000 | 6,800,000 |
| | 合計 | 件数 | 35 | 49 | 52 |
| | | 金額 | 1,967,915 | 2,264,564 | 7,309,816 |
| 指定寄付金 | 個人 | 件数 | 2 | 4 | 1 |
| | | 金額 | 1,030,000 | 140,000 | 50,000 |
| | 団体 | 件数 | 0 | 0 | 0 |
| | | 金額 | 0 | 0 | 0 |
| | 法人 | 件数 | 6 | 4 | 0 |
| | | 金額 | 142,850 | 79,300 | 0 |
| | 合計 | 件数 | 8 | 8 | 1 |
| | | 金額 | 1,196,650 | 219,310 | 50,000 |

(2) 寄附をいただいた法人・団体一覧

2013年度

| 法人名 | 住所 | 金額 |
|--------------|-----|-----------|
| 株式会社知床第一ホテル | 北海道 | 1,000,000 |
| 株式会社中田建機 | 北海道 | 50,000 |
| 有限会社片山電気商会 | 北海道 | 1,000,000 |
| 札幌ふるさと斜里会 | 北海道 | 30,000 |
| 山崎建設工業株式会社 | 北海道 | 500,000 |
| 医療法人社団 雄俊会 | 北海道 | 10,000 |
| 丸中しれとこ食品株式会社 | 北海道 | 1,000,000 |
| 株式会社丸あ野尻正武商店 | 北海道 | 1,000,000 |
| 株式会社グリーンコップ | 福井県 | 100,000 |

| | | |
|---------------------|-----|---------|
| 齋藤共同漁業部番屋 | 北海道 | 50,000 |
| 特定非営利活動法人 知床斜里町観光協会 | 北海道 | 10,000 |
| 土橋工業株式会社 | 北海道 | 500,000 |
| ウトロ漁協さけ定置部会 | 北海道 | 100,000 |
| ウトロ漁業協同組合 | 北海道 | 100,000 |
| 株式会社ハラノ | 北海道 | 50,000 |

2014年度

| 法人名 | 住所 | 金額 |
|------------------|-----|---------|
| 株式会社ビージーコーポレーション | 東京都 | 10,000 |
| 株式会社オーレンス総合経営 | 北海道 | 10,000 |
| 有限会社澤田農場 | 北海道 | 5,000 |
| 株式会社メタルワーク | 北海道 | 100,000 |
| 株式会社中村陶苑 | 北海道 | 20,000 |
| 栗林運輸株式会社 | 東京都 | 20,000 |
| 株式会社ハラノ | 北海道 | 100,000 |
| 株式会社 寿須藤製麺工場 | 北海道 | 20,000 |
| 株式会社北見環衛 | 北海道 | 10,000 |
| シドニークリーニング | 北海道 | 10,000 |
| 株式会社中村商会 | 北海道 | 100,000 |
| 有限会社内山食品 | 北海道 | 50,000 |

2015年度

| 法人名 | 住所 | 金額 |
|------------------|-----|-----------|
| 泰斗設備工業株式会社 | 北海道 | 50,000 |
| 株式会社長屋工業 | 北海道 | 100,000 |
| 株式会社カネダイ大橋牧場 | 北海道 | 20,000 |
| 明協通信機株式会社 | 北海道 | 100,000 |
| 株式会社イーグレット・オフィス | 滋賀県 | 5,000 |
| 斜里日の出漁業生産組合 | 北海道 | 100,000 |
| 有限会社共営漁業部 | 北海道 | 100,000 |
| 株式会社知床第一ホテル | 北海道 | 1,000,000 |
| 株式会社オーレンス総合経営 | 北海道 | 10,000 |
| 株式会社商工組合中央金庫旭川支店 | 北海道 | 10,000 |

知床自然大学院大学設立財団は、 活動を支援して下さる 賛助会員、寄附金 を募集しています

■賛助会員とは

この財団の目的に賛同する個人・団体・法人が会費を通じて支援するものです。

■会員の年会費

個人会員：5,000円

団体会員：10,000円

法人会員：20,000円

法人特別会員：100,000円

※年度ごとの納入となります。

■加入申込み方法

パンフレット付属の「払込取扱票」と「申込書」をご使用ください。(パンフレットご希望の方は、下記事務局までご連絡ください)

■賛助会員の特典

当財団のニュースレター、講演会やセミナーの案内情報を優先的にお送りします。

■寄附金について

寄附金も随時募集しています。

賛助会員加入同様にお申し込みください。

■主な入金口座について

ゆうちょ銀行 記号 19940 (普) 10138691

(※他の金融機関から 店名九九八 番号 1013869)

北洋銀行斜里支店 店番 452 (普) 3119440

北海道銀行斜里支店 店番 904 (普) 0530326

網走信金斜里支店 店番 003 (普) 0284957

大地みらい信金羅臼支店 店番 003 (普) 1072873

知床自然大学院大学設立財団は、ソーシャルグッドプラットフォーム
gooddo (グッドゥ) に参加しました

gooddo の知床自然大学院大学設立財団のページに行き、毎日「応援する」をクリックするだけで、支援金が「知床自然大学院大学設立財団」に届けられます。ぜひご覧ください。



◀ オンライン寄付サイト Give One (ギブワン) から引き続き、寄附金のお申し込みをいただけます

設立財団ニュースレター 第8号

発行 公益財団法人知床自然大学院大学設立財団
〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町 28-10
TEL 0152-26-7770 FAX 0152-26-7773
Web <http://www.shiretoko-u.jp>

E-mail sizendaigaku@wine.plala.or.jp



発行日 2016年3月31日

本誌掲載記事などの無断転載をお断りします。